



天文学の扉を開こう

3月の夜空

～こんな月、見たことありますか？～

右の写真をご覧ください。これは夕方、天文台のモニュメント上に輝く細い月(月齢:2.0)を撮影したものです。細い月もまた、神秘的で美しいものです。ただ、イメージされている月と比べて、ずいぶん横に寝ているように感じませんか？もちろん、この写真は見たままのもので、向きを回転させるようなことはしていません。

さて…、では、ここで問題です。

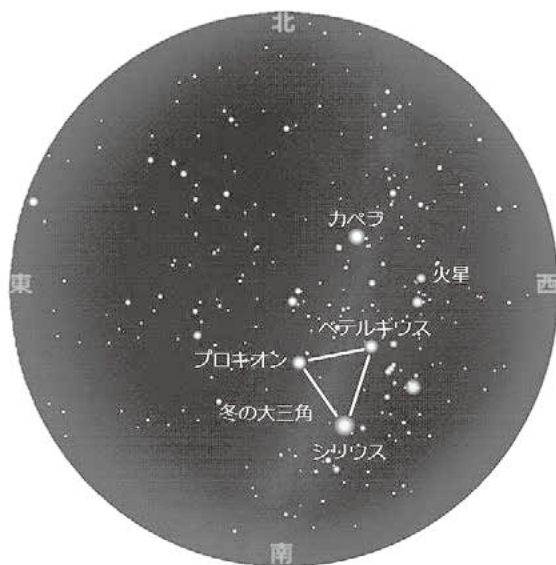
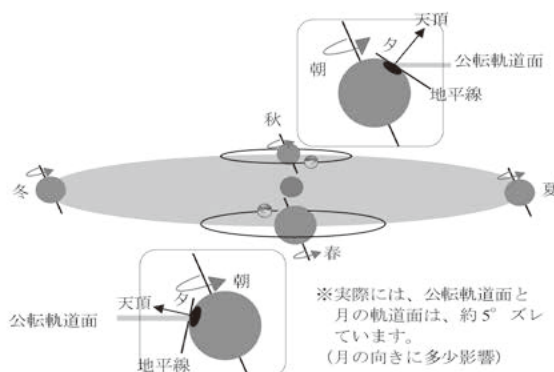
問題：撮影した季節は春、秋のどちらでしょうか？

ご存じのとおり月は太陽の光を反射することで明るく輝いています。写真でいえば撮影時、太陽は写真の右下方向(☀の方向)にあります。ずいぶん、真下の方向に沈んでいるように感じます。皆さんの中には、「あれ？太陽はこんなに急角度で沈んでないはず」「地平線に対して1年中同じ角度で沈むはずではなかったの？」と思われる方もいるのではないのでしょうか。

確かに、地平線に対する太陽の沈む角度は1年を通してほぼ一定になります。これは太陽の日周運動が地球の自転によって起こる現象であり、地軸が1年を通して常に北極星を向いていることによります。結果として、太陽が地平線へ沈む角度は「緯度」のみに左右され、高山では1年中約 53.5° (90° - 緯度 36.5°)になります。…つまり写真の季節を考える上で無関係…。

では、逆に季節により変化していることに注目してみましょう。図の春と秋の拡大図を見てください。日本における春と秋では、夕方の天頂方向が異なっています。しかし、月と太陽は地球の公転軌道面上にあり、その平面の傾きには変化がありません。そのため、春の夕方の方がより天頂方向に公転軌道面が傾きます。つまり地平線に対して月と太陽の向きが急角度。ということで、写真を撮影した季節は「春」です。

ちなみに5月くらいまでは同じように寝て見えます。お楽しみに！



3月のぐんま天文台

・夜の天体観望は予約制です。

○星図の説明

3月15日午後8時の高山村の星空。

月初めの午後9時、月末の午後7時頃にも同じ星空になります(「月」を除く)。



リトルミュージアム

『張り子のおひなさまをつくりました!』



おの まりあ ちゃん
「大きくなったら、「プリキュア」になりたいです!」



くらた ひろと くん
「大きくなったら、「警察官」になりたいです!」



うめざわ たつき くん
「大きくなったら、「ブラックシンカリオン」になりたいです!」



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしています(*^_^*) ☎26-7944(直通)



新田 山口 空斗くん(1歳)

ぼくの名前は「そらと」です。
大空のように寛大な子になってほしいとパパが付けました。
好きな食べ物は白米!
好きな遊びはレールを繋いでの電車遊びです!レールは毎日兄達で作ってくれます。車のおもちゃや兄達とのおいかけっこも好きです。

★末っ子ということもあり、少し甘やかされて育ったためワガママな所もありますが、その優しさやふれあいから学んで得たものを、今度は人に与える子になってほしいです。☆三兄弟は我が家の宝物☆とママ。

こちら「11代目緑のふるさと協力隊」

この3月で緑のふるさと協力隊の任期は終了します。今月は緑のふるさと協力隊としての1年間を振り返り自分自身の変化を記します。
5月から始まった活動は主に農作業でした。活動初日の農作業は、気温30度の中、鍬で肥料を混ぜて、柵を切つてマルチを貼る作業。もうめっちゃしんどかった。こんなに農作業はしんどいのかと驚きました。が、あれ以上に辛い農作業はありませんでした。15時休憩の時に意識が遠のいていたことが懐かしいです。初日が1番しんどかった(笑)
真夏の暑い時期には、草刈りをしたり枝豆の袋詰めやきゅうりの収穫のお手伝いなどをして、秋はさつまいも掘り、冬は干し芋関係の手伝いをしてきました。通年で、移住コーディネーターの方にも同行させていただきながら、村に移住を希望する人と交流することもありました。
高山村に来てよかったと思うことは、たくさんの人たちと出会うことができたということです。「十人十色」多様性を1年間感じ続けました。農作業をすることが多いので、たくさんの農家さんと話をしますが、人によって全く違うことを毎日干し芋を作る工程などは一人ひとり全く違っていました。農業以外の会話でも、人によっていろんな考え方があるということを感じました。そしてその違いを受け止められる自分が嬉しかったです。少し前の自分は、自分の価値観や考えと違う人は避けたりすることがありました。それでうまく人とコミュニケーションがとれなくて悩む時期もありました。いろいろな人から話を聞く中で、



note



instagram

日々の活動内容を
投稿しています。

自分の価値観や考え方は1度横において、その人の話をしっかり聞くことができるようになった実感があります。フラットに話を聞くと一人ひとりの違いがはつきり見えてきて「ほんまいろいろなんがいるんや」と面白く感じるようになりました。もう一つよかったと思うことは、農作業で身体をたくさん動かしたことです。昨年度は、民間企業で1年間デスクワークをしていました。現在と比較して考えると、身体を動かさない分、頭ばかり働いて小さなことでイライラしたり悩んだりすることが多かったと思います。太陽の下、身体を動かしながら作業をすることはしんどいけど、どこか吹っ切れる部分もありました。身体を動かすことは大切だと思います。これらを感じることでできたのも、1年間活動を受け入れてくれた農家さんをはじめとする方々、私を見守り続けてくれた近所の方や地域振興課のみなさん。他にも各所でのお世話になった人たちのおかげです。村が好きになりました。1日1日が新しいことの発見の連続で非常に楽しかったです。本当にありがとうございました。これからもアクティブに活動していけたらと思います。来年度からもよろしくお願ひいたします。